

論文内容の要旨

報告番号	空欄	氏名	金岡 幸嗣朗
Number of Cardiologists per Cardiovascular Beds and In-Hospital Mortality for Acute Heart Failure: A Nationwide Study in Japan (和 訳) 病床あたりの循環器内科医数が急性心不全の院内死亡に与える影響			

論文内容の要旨

心不全患者の治療における、適切な循環器医師の数についての報告はこれまでほとんどない。本研究の目的は、急性心不全患者における、病床あたりの循環器内科医師数と院内死亡の関係について調べることである。本研究では、循環器疾患診療実態調査(the Japanese Registry of All Cardiac and Vascular Diseases)の診療群分類包括評価(DPC)に含まれる情報を収集した、JROAD-DPC データベースの解析を行った。2012年4月1日から2014年3月31日の期間で、緊急入院した心不全患者をJROAD-DPC データベースから抽出した。各施設における循環器病床あたりの循環器内科医師数により、施設を4群(very low, low, high, very high)に分け、各群における患者の30日死亡を、階層混合ロジスティックモデルを用いて求めた。154,290人の急性心不全患者について解析した。各群における50床あたりの循環器内科医師数(中央値[四分位範囲])は、医師数の少ない群から、4.4(3.5-5.0)人、6.7(6.5-7.5)人、9.7(8.8-10.1)人、16.7(14.0-23.8)人であった。医師数の最も少ない群(very low)を基準にした、各群の30日死亡に対する調整後オッズ比(95%信頼区間、p値)は、low群で0.92(0.82-1.04; p=0.20)、high群で0.82(0.72-0.92; p<0.01)、very high群で0.70(0.61-0.80; p<0.01)であった。病床あたりの循環器内科医が多い施設に入院した急性心不全患者は、死亡が少ない結果であった。